

# 「点数汲々 目的見失う」

## 区長・教育長陳謝も

足立区議会

### 不正テスト学力

足立区の近藤弥生区長と斉藤幸枝教育長は20日の区議会  
で、学力テスト不正問題についてそろって陳謝した。区長は  
不正の背景に関連して「1点、2点のテストの点数に汲々  
としていたのでは、真の意味での（教育の）目的を見失う結果  
になりかねない」と述べた。一連の不正が起きた当時の区教  
委事務局の責任を問う考えも示した。  
（相関真樹子）

### 教委の責任にも言及

区長は「保護者、関係者、何よりテストを受け  
たすべての児童・生徒に  
深くおわび申し上げま  
す」と陳謝した。斉藤教  
育長は「一番の被害者で  
ある児童生徒のみならず  
に不安を与え、心を傷つ  
けた」と謝った。

区長は学力テストの目  
的について「児童・生徒  
の学習定着状況を把握  
し、学校での授業改善  
や家庭学習に生かすため  
のもので、学校間競争を  
あおることを目的にした

ものではないと述べた。  
そのうえで「今回の問  
題は、テストの順位を成  
績順に公表し、結果とし  
て過度な競争を現場に強  
いたことなどに原因の一  
端があると考える」との  
見方を示した。

さらに「区教委が教職  
員との意思疎通を密に  
し、現場の実情をくみ取  
ること。きめ細かい指導  
を行って子どもの良さを  
引き出し、子どもが生き  
る希望を見いだせるよう  
な教育現場を作り出すこ

とを強く希望する」と述  
べた。

斉藤教育長は「教育委  
員会の信頼が揺らいでい  
る。学力向上を急ぎすぎ  
たあまり、学校現場との  
認識のずれがあったなど  
反省すべき点が多々あ  
る」とした。

しかし、「取り組んで  
きた改革の検証をしっか  
りを行い、成果と是正す  
べき点を明らかにした上  
で、さらに改革を進め  
る」と述べ、学力向上な  
ど区教委がこれまで進め  
てきた施策の大きな方向  
性は肯定した。

# 成績別学校予算廃止へ

## 足立区テスト不正 調査委が報告書

9月20日 木曜日 京月 三

東京都足立区の公立小  
学校で、区や都の学力テ  
ストの際に教師が誤答し  
ている児童に合図するな  
ど不正が発覚したのを受  
け、大学教授らを入れた  
同区教委の学力調査委員  
会は再発防止のための報  
告書をまとめた。学力テ  
ストの成績の伸び率を学  
校への予算査定基準の  
一つにする方式の廃止を  
盛り込んだ。今年度から  
始めた予算の傾斜配分

は、1年で打ち切られる  
見通しになった。  
報告書は今月末にも同  
教委に提出され、区教委  
は再発防止策を決定す  
る。成績の伸び率を判断  
材料とする予算の傾斜配  
分は、23区の中で学力が  
低迷している対策として  
導入されたが、近藤弥生  
区長も不正発覚直後の7  
月の記者会見で「傾斜配  
分は見直す必要がある」  
と述べていた。

このほか報告書では、  
テストの成績で学校に順  
位を付けてホームページ  
に掲載する公表方法も、学  
校ごとに正答分布率など  
を掲載する方式に改める  
よう求めている。

また、問題が事前に漏  
れるのを防ぐため、これ  
まで実施日の1週間から  
10日前だった問題用紙の  
各校への搬入を、今後は  
前日の夕方に行うことも  
盛り込んだ。